

区長の独り言 3月「耐雪梅花麗」



我が家家の庭先の梅です

この言葉は、菅原道真の五言律詩の一部です。その意味は、「梅の花は、冬の雪や厳しい寒さを耐え忍ぶからこそ、初春に美しい花を咲かせ、かぐわしい香りを発する。」です。それは、苦難や試練を耐えて乗り越えれば、大きく見事な成長が待っているというたとえです。この言葉をなぜ知ったかといいますと、私の大好きなプロ野球投手の座右の銘になっていたからです。

その人とは広島カープとニューヨークヤンkeesで活躍した黒田博樹投手です。黒田投手は決して野球のエリートではありませんでした。

上宮高校時代は背番号17の補欠でした。大学（専修大学）時代に誰にも負けない厳しい練習をしてようやくプロ野球のスカウトの目に

留まり、広島カープに入団しました。チームのエースになってからも、アメリカに渡っても決して手を抜くことなく厳しい練習を自身に課し、現役が終わるまでエースの座を務めました。

令和4年度、区は2年間多くの人が集まり触れ合える行事のなかつた空白の期間を少しでも埋められるよう取り組んできました。そこには組長さんや班長さんたちにも戸惑いがありました。そういう意味では、令和4年度は「耐雪」かなと思います。今年の苦難を乗り越えた令和5年度は、「梅花麗」にさらに一步前進できると思います。

3月ともなれば、梅の季節は去り桜が本格的な開花を迎えます。そして、私も区長職を去りますが、区民の皆様方からのご支援・ご協力に厚く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。区長の独り言もご覧になっていただいた皆さん、ありがとうございました。

